

科目名	作業療法治療学実習 I			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年 前期
【授業の目的・ねらい】 臨床実習並びに、卒後において必要になってくる主要な作業療法評価法、治療技術について基礎知識の確認から実技を通し体系的に習得することを目標とする。								
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院、介護老人保健施設あさぎり むつみ荘等にて、身体障害領域及び老年期領域のリハビリテーションに従事。								
【授業全体の内容の概要】 実習や卒後で使用頻度の高い評価法について実践力を養うとともに、治療アプローチについても体験する。								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 内臓の構造と機能について、正常な状態を正しく理解し、自分で説明できるようになる。 後の授業で行われる、病理学、内科学などの疾患学理解に必要な基盤的知識を身につける。								
回数	講義内容						準備物(教材)	
1	ADL評価のポイント（食事）							
2	ADL評価のポイント（トイレ）							
3	ADL評価のポイント（入浴）							
4	ADL評価のポイント（排泄）							
5	ADL評価のポイント（更衣）							
6	ROM, ROMex							
7	MMT, 筋力強化訓練							
8	感覚検査、感覚訓練							
9	実習前実技練習							
10	実習前実技練習							
11	実習前実技練習							
12	実習前実技練習							
13	実習前実技練習							
14	実習前実技練習							
15	まとめ							
定期筆記試験								
【使用教科書・教材・参考書】 標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 野村 巖 医学書院 標準理学療法学・作業療法学 生理学第5版 岡田隆夫 医学書院 プロメテウス解剖学コアアトラス 坂井建雄監訳 医学書院								
【準備学習・時間外学習】 小テストのための復習・学習								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】								
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 60点以上の場合に科目を認定する。								